

# 令和2年度第2回東京都相談支援従事者研修検討会 議事録【要旨】

日 時 令和2年7月2日（木曜日）午前10時から午前11時10分まで  
（新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を受け、WEB上での意見交換による開催）

出席者 佐藤委員長、杉田副委員長、中島副委員長、花形副委員長、吉澤副委員長、蛭川委員、藤田委員、堤委員、池田委員、藤井委員、北川委員

傍 聴 4名

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 森下 他5名

## 1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>資料確認 次第 資料1 東京都相談支援従事者初任者研修プログラム案 資料2 令和2年度東京都相談支援従事者初任者研修 演習タイムテーブル案 参考資料 相談支援従事者初任者研修標準カリキュラム案</li><li>本日は、傍聴者がいること、また、記録のための録音及び今回の検討会議事録（要旨）は、ホームページでの公開対象であることについてご了承いただきたい。</li></ul>
-----	---

## 2 委員紹介

佐藤委員長	・次第の内容で議事を進める前に委員の皆様にご自己紹介をいただきたい。
各委員	・自己紹介（記録省略）

## 3 検討事項

### (1) 初任者研修の新プログラムについて

#### ア 新プログラムの概要

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>本来行う予定のプログラムと新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じたプログラムとは分けて検討したい。</li><li>本来行う形の講義の企画案と演習のタイムテーブルで構成されている通常バージョンは、資料1に示されている。通常バージョンについて初任者研修チームの杉田副委員長から説明していただきたい。</li></ul>
杉田副委員長	<p>(資料1について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>初任者研修は、講義2日間及び演習5日間の全7日間の日程とし、講義については、国で定められている「相談支援従事者初任者研修標準カリキュラム案」で構成する。演習の「地域課題」を除いて、前年度と同様の内容で進める。</li><li>計画相談のプロセスをミスポジション論に沿って体験し、実習1は、研修3日目に行ったアセスメント演習を基に個別の事例で行う。実習課題は、スト</li></ul>

	<p>レングスマップシート、野中式グラフィックを作成し、ニーズ整理表でリアルニーズを出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修5日目は、実習課題を発表し、質疑応答を受けて気づきを得る。進行と板書を受講者が行うが、目的は上手に行うことではなく、進行と板書の経験をすることである。</li> <li>・実習2は、研修4日目に行ったプランニング演習、実習1、研修5日目を基に個別の事例の5 P i c s、サービス等利用計画を作成し、地域資源調べをする。</li> <li>・研修6日目は、実習2で行った実習課題を発表し、質疑応答を受けて気づきを得る。</li> <li>・研修7日目は、研修3日目及び4日目で取り扱った共通事例について地域分析し、さらに自分の地域状況を分析する。自分と同じ区市町村の仲間とグループを編成し、実習で調べてきた地域状況を共有する。7日間の研修で学んできたことを自己診断し、全体で振り返る。</li> <li>・初任者研修チームでのミーティングの主な内容は、受講者に5 P i c sを分かりやすく伝えていくにはどうしたらよいかについて、時間をかけて議論してきた。演習ノートの工夫及び教室進行の説明の仕方について、今後、検討していきたい。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修企画案について、質疑応答をいただきたい。</li> </ul>
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習について詳しく教えていただきたい。実習1は、個別事例を持ち帰り、ストレングスマップシート、野中式グラフィック、ニーズ整理表を作成し、実習2は、5 P i c s及びサービス等利用計画を作成していくが、具体的に実習先へのアポイントや地域の受けとめについて、イメージを聞かせてほしい。</li> </ul>
杉田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習2で作成する5 P i c sとサービス等利用計画は、研修3日目で行ったアセスメント演習を基に作成していく。地域とのつながりは、実習2で拠点機関へのインタビューをすることで持つことになり、5 P i c sについては、演習内で解決していくことになる。通常バージョンの説明になるが、必ず受講者から連絡し、つながることを大切にしたいと考えている。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習イメージは、「地域とどうつながりをもつか」ということと、「現任研修や主任研修につながるように初任者研修で相談支援専門員の動きを整えること」ではないか。</li> </ul>
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者が自ら実習先を探すことになっていると思うが、いつ頃、実習先にアポイントをとることになるのか。実習内容は、実習先へはいつ周知されるのか。募集の段階から実習があることを周知するのか。</li> </ul>
杉田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修2日目の演習ガイダンスで実習の位置づけ、課題、演習に向けて準備することを説明するが、受講者が、いつ頃からつながりを持てばよいかという視点や区市町村への調整について詰めていきたい。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都内は、さまざまな区市町村があるので事務局を含めて内容を詰めていただきたい。</li> </ul>

吉澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターは、どの辺りで参加するのか。まとめ役は、演習全日程で参加するのか。</li> <li>・和也さんの役割をするのであれば、事前に情報を把握する必要はあるのか。</li> </ul>
杉田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターは、通常バージョンでは参加するが、1教室に数名入るイメージである。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じての演習を実施することとし、通常バージョンは、来年度以降の実施となる。</li> </ul>

#### イ 新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じての研修実施について

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じた場合にどのように行うか示されているものが、資料2「令和2年度東京都相談支援従事者初任者研修演習タイムテーブル案」である。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じての研修実施について、事務局から説明をいただきたい。</li> </ul>
事務局	<p>(資料2について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者数は、通常バージョンでは700名だが、3密を避けるため400名とする。講義は、動画配信とし、講義カリキュラムの時間数は変更なし。受講確認票は、動画配信の際にダウンロードし、研修3日目(演習1日目)に提出する。</li> <li>・受講者、関係者の交通機関を使って移動する際の感染リスク軽減策として、研修時間を10時から16時頃までとし、休憩時間の多くを15分から10分に短縮する。</li> <li>・全体会は行わず、全て各教室で行い、スクール形式を基本とする。(5日目、6日目はグループごとにスクール形式)</li> <li>・演習は対面での意見交換や一つの課題をグループで討論することは行わず、個人ワークとラウンドを基本として進める。</li> <li>・実習は、実習協力者との面接は行わない。</li> <li>・演習で使用する筆記用具は、受講者が持参することとする。5Pics、ニーズ整理表等は、大判からA3サイズで作成し個別用とする。</li> <li>・5日目、6日目はグループ形式とする。ただし、対面での意見交換はせず、質問はカードに記載の上、離れたところで回答する方式とする。</li> <li>・サポーターは、3日目、4日目、6日目、7日目にあらかじめ撮影した動画により登場する。</li> <li>・具体的な演習形式は、資料2「令和2年度東京都相談支援従事者初任者研修演習タイムテーブル案」参照</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習1の実習協力者は、「これまで携わってきた人」でよいか。</li> <li>・必要に応じて電話でインタビューするが、改めて聴き取りをするということによいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで携わってきた人に実習協力をお願いし、できるだけ今ある情報の中で課題を作成する。どうしても必要な場合のみ電話での聴き取りとする。相談計画のアセスメントとしては、内容が薄くなるがやむを得ない。</li> </ul>

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修新プログラム及び新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じての研修実施については、提案どおりの内容で決定する。</li> <li>・今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じての研修を実施する。</li> <li>・初任者研修チームを中心に検討していくことになるが、他の委員の皆様もネットワークを使いご協力いただきたい。</li> <li>・これから、初任者研修チームはプログラムを演習ノートに落とし込む作業に入る。</li> </ul>
-------	---

(2) 専門コース別研修について

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の専門コース別研修のテーマや準備状況について、事務局から報告をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修が新プログラムになったことで、これまで講義4日目に行っていた「障害者の生活ニーズ」の内容を専門コース別研修で行いたい。講義4日目は、講義が前段で3日間あり、後段で演習があることで生きてきた研修なので、単独となった場合は、少し構成を見直す必要があると考えている。昨年度アンケートでは、「意思決定支援」をテーマとして取り上げてほしいという意見が多かった。意思決定支援についての講義と、当事者の方からの体験談を組み合わせたいと考えている。今年度については、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から中止とし、来年度にテーマを引き継ぎたい。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補足、質疑はないため、本日の検討事項は終了とし、事務局へ返す。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習指導者養成研修の準備状況についての報告  募集期間 6月29日(月曜日)から7月27日(月曜日)まで  (区市町村及び国研修受講者並びに協力団体からの推薦による申込み)  募集人数20名(7月2日現在 0名)</li> <li>・初任者研修のプログラム以外の準備状況についての報告  来週から、まとめ役の募集を予定している。  受講者400名に対し、教室進行及びまとめ役の必要人数は、79名  (内訳:演習指導者養成研修受講者20名、経験者59名)  *後日、詳細についてはお知らせするので、ご協力をいただきたい。</li> <li>・第3回及び第4回相談支援従事者検討会日程について  第3回 9月4日(金曜日)10時から11時30分まで  第4回 3月15日(月曜日)10時から11時30分まで</li> </ul>
-----	--